

JIS

軸流形電動機内装局部扇風機

JIS M 7612⁻¹⁹⁹³ ;

(2005 確認)

平成 5 年 7 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

鉱山部会 局部扇風機専門委員会 構成表(昭和52年12月1日改正のとき)

	氏名	所属
(委員長)	中 條 徳三郎	荏原製作所(日本産業機械工業会)
	房 村 信 雄	早稲田大学理工学部
	杉 山 弘	通商産業省機械情報産業局
	清 滝 昌三郎	通商産業省立地公害局
	嶋 田 勝 弘	通商産業省立地公害局
	高 瀬 郁 弥	資源エネルギー庁石炭部
	帆 足 万 里	工業技術院標準部
	高 木 英 夫	工業技術院公害資源研究所
	吉 野 久 義	西松建設株式会社機械部
	白 井 隆	日本石炭協会技術部
	小笠原 三 郎	三井石炭鉱業株式会社本店生産部
	宮 崎 清 二	三菱石炭鉱業株式会社技術部
	工 藤 利 秋	北海道炭礦汽船株式会社技術部
	越 智 功	日本鉱業協会
	野 原 博	財団法人石炭技術研究所
	山 田 良 隆	株式会社間組
	後 藤 良 平	大成建設株式会社工務本部機械部
	寺 沢 正 義	労働省産業安全研究所電気研究部
	伊 藤 浩 浩	建設大臣官房官庁営繕部
	安 部 績	株式会社三井三池製作所
	永 島 敏 雄	株式会社日立製作所習志野工場海老名分工場
	北 原 発 城	昭和電機株式会社製造部
	古 田 幹 雄	フルタ電機株式会社
	於 保 秋 次	西部電機工業株式会社
	押 田 良 輝	荏原製作所
	忠 平 健 一	大成建設株式会社技術本部技術研究所
	斉 藤 宗三郎	財団法人船舶標準協会
	鞍 掛 素	日本鉱業協会技術部
	高 橋 久	西松建設株式会社機械部
	山 梨 晃 一	資源エネルギー庁石炭部
(事務局)	黒 河 亀千代	工業技術院標準部材料規格課
(事務局)	宮 本 幸 夫	工業技術院標準部材料規格課(平成5年7月1日改正のとき)
	小 嶋 誠	工業技術院標準部材料規格課(平成5年7月1日改正のとき)

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和36.11.1 改正：平成5.7.1

官 報 公 示：平成5.7.21

原案作成協力者：社団法人 日本産業機械工業会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 資源エネルギー部会(部会長 福原 元一)

審議専門委員会：局部扇風機専門委員会(委員長 中條 徳三郎)(昭和52年12月1日改正のとき)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課(〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1)へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

軸流形電動機内装局部扇風機

M 7612-1993

Axial flow type local fans for mine

1. 適用範囲 この規格は、定格出力55 kW⁽¹⁾以下の交流誘導電動機を内装した軸流形局部扇風機(以下、扇風機という。)であって、鉱山、土木・建設地下工事現場、その他局部的に換気を必要とする場所に使用する扇風機について規定する。

なお、取扱い気体は、-5~40℃の空気とする。

注⁽¹⁾ 電動機を2台内装している場合は、55 kWを超えてもよい。

備考1. この規格の引用規格を、次に示す。

- JIS B 0132 送風機・圧縮機用語
- JIS B 0905 回転機械—剛性ロータの釣合い良さ
- JIS B 8330 送風機の試験及び検査方法
- JIS C 0901 炭鉱用電気機器の防爆構造
- JIS C 0903 一般用電気機器の防爆構造通則
- JIS C 0905 電力用電気機器の防爆構造
- JIS C 4004 回転電気機械通則
- JIS C 4203 一般用单相誘導電動機
- JIS C 4210 一般用低圧三相かご形誘導電動機
- JIS C 6571 電子機器用トグルスイッチ
- JIS C 8304 屋内用小形スイッチ類
- JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材
- JIS G 3141 冷間圧延鋼板及び鋼帯
- JIS G 5501 ねずみ鋳鉄品
- JIS H 5111 青銅鋳物
- JIS H 5202 アルミニウム合金鋳物

2. この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって、参考値である。

2. 用語の定義 この規格に用いる主な用語の定義は、JIS B 0132による。

また、扇風機の各部の名称は、付図1による。

3. 種類 扇風機の種類は、電動機の極数、扇風機の大さき及び羽根車の段数によって表し表1のとおりとする。大さきは扇風機の呼び径で表し、呼び径はケーシングの内径100 mmをもって1番とする。